

ベラルーシ公開情報取りまとめ

(2020年1月22日～1月28日)

2020年1月29日

在ベラルーシ大使館

【主な出来事】

●ルカシェンコ大統領、ヴィテプスク州農業コンプレックスの持続可能な運営のための優先措置に関する会議を開催(1/28)

●日本政府、ミンスク市診療所に医療機器購入の資金を提供(1/28)

●ベラルーシ、腐敗度指数改善(1/26)

内政・外交

【ルカシェンコ大統領動静】

●ヴィテプスク州農業コンプレックスの持続可能な運営のための優先措置に関する会議(1/28)

ルカシェンコ大統領の発言要旨は以下の通り。

・ヴィテプスク州の農業企業に勤める管理職、従業員は最大限の負荷を持って働くべきである。国家が彼らに適切な対応をとるならば、朝から晩まで働き、蓄積した負債の返済のみならず、損害をもたらさない企業にのし上げるべきである。

・人々に集中的な作業を強いる場合、適切な給与の保障が必要となる。人々に地域に残ってもらうだけではなく、高品質な専門家を惹き付けるには、何ができるだろうか。

・ヴィテプスク州の農業は、近代化する必要がある。地方の特性を踏まえると、多くの地域で非効率となっている。牛乳と肉製品への集中が必要である。

・ヴィテプスク州農業コンプレックスには、具体的な発展プログラムが必要である。そして、そのプログラムは毎年管理できる必要がある。毎年、結果を総括し、結論を出すために、透明性が高く、分かり易くあるべきであろう。

・政府の支援を当てにするだけでは足りない。企業に秩序と規律がなければ問題を解決できない。倉庫、複合施設、穀物の加工の流れ、農場、全てを整備し、従業員を時間通りに出勤、帰宅、職務遂行するよう促す必要がある。

(1/28 大統領府公式ホームページ)

●セニコ国家税関委員会委員長と面談(1/27)

「セ」委員長は、ルカシェンコ大統領に2019年の税関の活動に関する報告書を提出し、関税による予算収入は、財務省の提示した予測値の100.5%で履行された旨、報告した。

(1/27 大統領府公式ホームページ)

●モギリョフ州シュクロフ市を訪問(1/24)

ルカシェンコ大統領は、同市にある、新聞印刷工場、食油製造工場、亜麻工場、紙パルプ工場を訪問し、各工場長や従業員と対話を行った。

(1/24 大統領府公式ホームページ)

●医療研究機関に対する優遇税制措置の延長に関する大統領決定 22 に署名(1/22)

ルカシェンコ大統領は、保健省傘下の共和国研究実践センターやミンスク外科・移植・血液学研究実践センターに向けた税制優遇措置を2022年12月31日まで延長する大統領決定 22 に署名した。

(1/22 大統領府公式ホームページ)

●医療機器購入に向けた資金運用に関する指示書に署名(1/22)

ルカシェンコ大統領は、ミンスク州執行委員会の2020年1月1日におけるイノベーション基金の残額2千万ベラルーシルーブルを、ミンスク州の国立医療機関のハイテク医療機器購入資金に充てるための指示書に署名した。

(1/22 大統領府公式ホームページ)

【内政】

●ベラルーシ政府、2030年までのベラルーシ国民平均寿命を80歳まで延長する目標を設定。

国家戦略プログラム「立派な長寿」にて規定され、閣僚会議傘下国民人口委員会によって検討された。コステヴィチ労働・社会保障大臣は、「同戦略の目的は、高齢者の生活水準と質を高めることである。6つの課題があり、それぞれの課題に定量目標が設定されている。最新情報によるとベラルーシ国民の寿命は74.5歳であるが、2030年までに80歳まで伸ばしていくのが課題である。ベラルーシの人口動態学的状況は高齢化を特徴としている。65歳以上の人口の割合は15%を超える。2030年には21%になると予想されている。」と発言した。

(1/24 ベラパン通信)

【外交】

●日本政府、ミンスク市診療所に医療機器購入の資金を提供(1/28)

日本政府は、ミンスク市ペルヴァマイルスキー地区19病院に対し、医療用超音波検査機購入のための資金を提供する。徳永博基駐ベラルーシ・日本大使出席のもと、総額59,330ドル契約の署名式がミンスクで開催された。

(1/28 ベラパン通信)

●ポンペオ国務長官、2月1日にルカシエンコ大統領、マケイ外務大臣と会談予定。

米国務省は、1月30日から2月4日までポンペオ国務長官の旧ソ連諸国訪問を発表した。米国外務省報道部は、ポンペオ国務長官は、1月30日にキエフ訪問、2月1日にミンスクおよびヌスルタンを訪問、2月2日～3日はタシケントを訪問する予定と発表した。

(1/24 ベラパン通信)

●クラフチェンコ外務次官、ムール駐ベラルーシ・米代理大使と会談(1/23)

両者は、今後開催される米・ベラルーシ間の行事を踏まえた二国間の関係発展に関し、協議した。

(1/23 ベラパン通信)

●ルマス首相、メンゼーツェフ駐ベラルーシ・ロシア大使と電話会談(1/23)

両者は、エネルギー分野を含む二国間協力に関して協議した。電話会談に際して、メンゼーツェフが「ロシアは2019年の低品質石油供給に関連するベラルーシ側の損害を補填する用意がある」と発言したと報道されている。また、両者は、ベラルーシと露国営企業ロスコスモスとの協力拡大に関し協議した。

(1/23 ベラパン通信)

●サンギタ・バガドゥル駐ベラルーシ・インド大使、記者会見(1/23)

記者会見の内容要旨は以下の通り。

・モディ首相は、今年ベラルーシを訪問する可能性がある。ルカシエンコ大統領との約束があるが、昨年は、国内選挙のため、訪問実現に至らなかった。

・インド・ベラルーシ二国間関係は温かく、友好的である。経済関係も順調に発展しており、公式な情報ではないものの、二国間貿易高は6億ドルを超えているであろう。

・インド技術経済協力(ITEC)は、ベラルーシ人の中で非常に人気となっており、すでに330人を超える専門家が同プログラムに参加した。

・インド大使館は、毎年15の奨学金を提供しているが、希望者も多く、今後20まで増加すべくインド政府に要請している。

(1/23 ベラパン通信)

●マケイ外務大臣、ラブロフ露外務大臣と電話会談(1/22)

両者は、両国の協力、両国外務省の相互作用、同盟関係のさらなる発展について協議した。

(1/22 ベラパン通信)

●ポンペオ国務長官のベラルーシ訪問予定の発表
外務省情報デジタル外交局シュプリャク次長は、(中東情勢の悪化に伴いベラルーシ訪問が延期となっていた)ポンペオ米国国務長官は2月1日にミンスクを

訪問する旨、述べた。1月21日、ポリティコ誌は、情報源を引用して、米国は入国制限の対象となる国のリストを拡大する可能性があり、トランプ政権はベラルーシ、ミャンマー、エリトリア、キルギス、ナイジェリア、スーダン、タンザニアの7カ国を加えることを検討している旨、報じた。これらの国のリストは最終的なものではなく、変更される可能性がある。公式には1月27日にリストへの追加が公表される予定である。

(1/22 ベラパン通信)

【経済】

【対外経済】

●国際金融公社(IFC)、2020年に、ベラルーシへ7500万ドル融資を行う意向表明

シェルビナ IFC ベラルーシ事務所長は、IFC がベラルーシに対する投融資の実績が 8 億 5 千万ドルであること、2020 年に 7500 万ドルの融資を行う計画にあると発表した。加えてシェルビナ所長は、2019 年ラテンアメリカやアフリカをはじめ都市世界的に外国直接投資額は1%減少しているが、ベラルーシをはじめとする旧ソ連諸国における投資額は成長していることを指摘した。

(1/28 ベラパン通信)

●2019年1月～11月のベラルーシ石油製品輸出額、2018年同期対比、20%減少。

同数は 12 億 3 千万ドルと 2018 年同期対比、20%の減少。輸血量ベースでは、960 万トンであり、2018 年同期対比 13.3%の減少であった。

(1/24 ベラパン通信)

●チェルヴァコフ経済大臣、ロヤカ・リトアニア経済革新省次官、プロカス駐ベラルーシ・リトアニア大使と会談(1/23)

両者は、経済分野における潜在的な二国間協力や 2020 年 5 月にクライペダで予定されている第 15 回ベラルーシ・リトアニア経済フォーラムの準備に関し協議した

(1/23 ベラパン通信)

【国内経済】

●2019年12月時点でのベラルーシの雇用者数、4000万333.5人と昨年対比、2500人減少。

(1/27 ベラパン通信)

●ベラルーシ、腐敗度指数改善

国際機関 Transparency International が毎年発行する Corruption Perception Index (腐敗度指数)において、45 点となり、昨年 70 位から 66 位へと上昇し、モンテネグロ、セネガル、アルゼンチンに並んだ。

なお、近隣国の状況は以下の通り。

ロシア(137位:28点)

ウクライナ(126位:30点)

ラトビア(44位:56点)

ポーランド(41位:58点)

リトアニア(35位:60点)

(1/26 ベラパン通信)

●2019年、ベラルーシ国内平均給与、1,090.9ベラルーシルーブル(BYN)と、2018年対比13.9%増加。

ベラルーシ国家統計局によると、各地域の平均給与は以下の通り。

ミンスク市:1,524BYN

ミンスク州:1,240.5BYN

ブレスト州:1,113.3BYN

ゴメリ州:1,081.7BYN

グロドノ州:1,077.8BYN

ヴィテプスク州:1,030.5BYN

モギリョフ州:993.5BYN

(1/27 ベラパン通信)

●ベラルーシで5Gの試運転開始

ベラルーシ電気通信事業者 MTS は、試運転として、Huawei および Cisco の機器をパイロットゾーンに設置し、5G の運用を開始した。

(1/24 ベラパン通信)

(了)